

## ひたいにあせし、ハラールなしゅうにゆうをえること

### そんけいすべきムスリムのみなさま！

さきにろうどくしたしょうくのなかで、ぜんこのアッラー（スブハーナワタアラー）はつぎのようにつけておられます。「アッラーがあなたがたのかてとした、ごうほうなよいものをたべなさい。そしてアッラーをおそれなさい。あなたがたは、そのしんこうしゃなのだから。」<sup>1</sup> ハディースのなかで、わたしたちのよげんしゃ<sup>2</sup>はつぎのようにかたっています。「せいじつでしんらいできるしょうにんは、よげんしゃたち、しんじつなひとたち、そしてじゅんきょうしゃたちとともにある。」<sup>2</sup>

### しんあいなるしんこうしゃのみなさま！

「アル=ラッザーク」であるわたしたちのしゅ（スブハーナワタアラー）は、そのしもべたちにかぞえきれないしゅくふくをさずけてくださいました。しもべたちには、ハラールでせいじょうなかてをもとめ、ハラームからとおざかるようめいじておられます。しゅ（スブハーナワタアラー）は、ハラールなほうほうでせいけいをたて、せいじつなくらしをおくるために、ひたいにあせしてどりよくするようしもべたちにすすめています。じっさい、クルアーンにおいてしゅ（スブハーナワタアラー）はつぎのようにつけておられます。「……アッラーのみもとにかてをもとめ、つかえ、かんしゃしなさい。あなたがたは、そのみもとへかえされるのだから。」<sup>3</sup>

### しんあいなるムスリムのみなさま！

ハラールなしよとくとは、こうせいかつせいじつなどりよくとはたらきによってえられるしゅくふくこそ「さいこうのかて」であるとしることで、こうせいさをおもんじ、めさきのはんだんをせず、ことばとこうどうにおいてしょうじきであることです。ハラールなしゅうにゆうとは、じぶんのしごとにきんべんであること、またろうどうしゃのあせがかわくまをおかずにちんぎんをしはらうことです。じんけんとこうきょうのけんりをまもり、そんちょうすることです。しゅうにゆうとじんせいにおけるバラカをふやすようつとめることです。ハラールなしゅうにゆうをえることは、ぶっしつてき・けいざいてきなめんせいちょうしつ、せいしんてきなめんをうしなわないことです。やしんやよくぼうにとらわれないこと、けっしてだれのけんりもしんがいしないようにすることです。ハラールのしゅうにゆうとは、うそをついたり、ごまかしたり、あざむいたりすることをさけ、ハラームのひとさじはいぶくろをやくほのおであるとみなすことです。

### しんあいなるムスリムのみなさま！

せいかつのあらゆるめんとおなじように、しごとやとりひきにおいてもしんじつとしょうじきさにもとづいておこなわなくてはなりません。アッラー（スブハーナワタアラー）によってさだめられたハラールとハラームのきょうかいをただしくまもりましょう。ハラールなやりかたでしゅうにゆうをえ、ハラールなやりかたではたらき、ハラールなやりかたでつかいましょう。らいせのこうふくよりも、つかのまのげんせのしゅうぶつのほうをえらんだりすることのないようにしましょう。ほんじつのホトバを、ハディースにあるよげんしゃ<sup>2</sup>のけいこくをもっておわります。「しんぱんのひ、アーダムのこらのあしはアッラーのおんまえからうごけない。そしてじぶんのざいさんについて、どのようにかせぎ、どのようについやしたかをといただされる。」<sup>4</sup>

<sup>1</sup> Ma'idah, 5/88.

<sup>2</sup> Tirmidhi, Buyu', 4.

<sup>3</sup> Ankabut, 29/17.

<sup>4</sup> Tirmidhi, Sifat al-Qiyamah, 1.